

会議要旨

会議の名称		令和元年度第1回行田市子ども未来審議会
開催日時		令和元年7月23日（火） 10:00～11:30
開催場所		行田市役所 305 会議室
事務局（担当課）		子ども未来課
出席	委員	馬橋委員（会長）、馬場委員（副会長）、菊地委員、大竹委員、 桑原委員、園部委員、吉田委員、出井委員、堀内委員、大澤委員、 松島委員、町田委員
	その他	
	事務局	健康福祉部子ども未来課： 五十嵐課長、浦、根岸、飯田、関口、綿貫 地域計画 大谷
欠席		福田委員、横田委員、老本委員
議事		○議題 第二期子ども・子育て支援事業計画の骨子について ・子ども・子育て支援事業計画に係るアンケート調査結果について（報告） ・本市における子育て支援事業等の状況について ○その他 ・幼児教育・保育無償化の実施について
会議次第		1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 4 閉会

配布資料

次第

- 資料1 子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書【速報版・（概要）】
- 資料2 第二期子ども・子育て支援事業計画骨子（案）
- 資料3 本市における子育て支援事業の状況
- 資料4 幼児教育・保育無償化配布用チラシ
- 資料5 幼児教育・保育無償化の主な例

1 開会

(事務局)

2 会長あいさつ

(馬橋会長)

3 議事

議題1 第二期子ども・子育て支援事業計画の結果について

会長	議題1について、事務局の説明をお願いします。
地域計画	(資料1「子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書【速報版(概要)】」について説明)
事務局	(資料2「第二期子ども・子育て支援事業計画骨子(案)」について説明) (資料3「本市における子育て支援事業の状況」について説明)

会長	ただ今の説明について、質問がありますでしょうか。
大澤委員	子育てについて相談できる人がいるかどうかと児童虐待への関心については、相関があるのではないかと思います。ぜひ、アンケート調査結果報告書の3ページの質問「子育てをする上で気軽に相談できる人の有無」と19ページの質問「児童虐待に関心があるか」についてのクロス集計をお願いしたい。また、10ページの市の子育て支援事業の⑨～⑮については、利用したい人が利用したことがある人よりもかなり多くなっています。この結果は、計画策定に反映して頂きたいと思います。
地域計画	クロス集計につきましては、次回、結果を報告させていただきます。
事務局	10ページの事業につきましては、知られていない可能性もありますので、今後、周知の方法を検討していきます。
会長	宜しくお願いします。
松島委員	相談したいけれども相談先がない人への市としての対応、受け皿はどのようなになっていますか。
事務局	未就学児の保護者に対しては、子育て支援拠点(キッズプラザ、つどいの広場)での相談が可能です。 また、保健センターには子育て世代包括支援センターもあります。小学生の保護者では、学校との連携もあると思いますが、市では家庭児童相談室を利用いただければと思います。

園部委員	アンケート結果の 10 ページで、⑤地域子育て支援センター、②赤ちゃん訪問事業、⑧パパママ応援ショップなどでは、逆に利用したいと思う人が利用したことのある人よりも少ないのはなぜでしょうか。 また、④子育て包括支援センターや⑮子育て総合支援窓口が利用したい人が多いというのは、総合的に子育てを見て欲しいということかと思います。これらについて、今後どのようにしていくのでしょうか。 子どもが育つ環境を抜本的に変えていかないと、子どもの数は増えないのではないかと気になります。
事務局	利用したい人よりも利用したことがある人が少ない事業は、子育ての時期に関係するもので、お子さんが育つにつれて次のステージの事業に進むという構造があります。ただ、使ってみただけであまり利用価値がなかったと判断されたということであれば、行政として改善の余地があると考えます。数字をしっかりと検証し、対応していきたいと思います。 子育て環境の改善につきましては、子ども未来課だけでなく、全庁的課題として取り組んでいます。抜本的な案をどうするかにつきましては、第2期計画の中で進めます。皆様からのご意見やご発想も頂戴したいと思います。
副会長	子育ての拠点については、夏場は戸外での利用がしづらいため室内での利用になると、小さなお子さんがいるところに大きなお子さんが行くと危ないとされたり、大きなお子さんには物足りなかったりということがあります。これから考えていかなければならない点だと思っています。
園部委員	小学生が身体を使って遊ぶために、市外に行くという話をよく聞きます。市内にそうした場があればもっといいと思います。 また、市は学童を増やして下さっていますが、低学年でも放課後を自宅で過ごすという回答が6割と増えています。一方、高学年でも学童を利用したいという回答も増えており、矛盾している感じです。高学年でも家に子どもを置いておけない状況があるのか、親子のつながりといった視点でも、考える必要があると思います。
副会長	子どもとの時間を増やしたいと思っても、そうできない社会的環境があると思います。予算の問題もあるでしょうが、市にはアンケートで記述された内容も考慮していただければと思います。
事務局	人口減少対策については、庁内各部門でそれぞれ取り組んでいます。当課では第3子以降の出生に対しサービス券を給付しています。また、新市長の給食費無償化の公約の実現に向け、検討を進めています。
園部委員	子育てのしやすい市になるよう、独自の取り組みもぜひお考えいただき

たいと思います。

町田委員

1期計画の事業の達成状況を知りたいと思います。その結果とアンケートの結果が2期計画に反映され、行田市オリジナルの事業として展開していただければいいと思います。

少子化に関係しますが、つどいの広場に来られている方で、3人目を最近生んだ方がおられます。その方は、このように気軽に話ができる場があったから生みましたと話されていました。ご参考まで。

また、保育園の決定時期が遅く、就職活動に影響しているという話も聞いています。改善していただけるとありがたいです。

事務局

保育園の決定時期については、少しでも早くできるよう努めています。ただ、本市は、1月、2月の随時申請も受け付けながら、4月の一斉入所に対応しており、これは他市町よりも細やかな対応と自負するところ です。

現計画の進捗状況につきましては、各課に照会をかけ、その内容については追ってご報告致します。

委員長

では、次に進みます。その他につきまして事務局、お願いします。

事務局

(資料4「幼児教育・保育無償化配布用チラシ」について説明)

委員長

ご質問がありましたらお願いします。

大竹委員

年長は誕生日がくれば6歳になりますが。

事務局

ここでの年齢は4月1日時点のもので、5歳は年長さんにご理解下さい。

会長

他になければ、審議を終了します。進行をお返しします。

事務局

次回会議は9月上旬から中旬を予定しておりますので、宜しくお願いします。

4 閉会

(事務局)